

2025年12月期 決算にかかるFAQ

2026年3月3日

株式会社INPEX（証券コード：1605）

地球の力で未来へ挑む

INPEX

注意事項

当プレゼンテーションは、当社の計画と見通しを反映した、将来予想に関する記述に該当する情報を含んでおります。かかる将来予想に関する情報は、現在入手可能な情報に鑑みてなされた当社の仮定および判断に基づくものであり、これには既知または未知のリスク、不確実性およびその他の要因が内在しております。かかるリスク、不確実性およびその他の要因は、かかる将来予想に関する情報に明示的または黙示的に示される当社の将来における業績、経営結果、財務内容に関してこれらと大幅に異なる結果をもたらす可能性があります。かかるリスク、不確実性およびその他の要因には下記のものが含まれますが、これらに限られるものではありません。

- 原油および天然ガスの価格変動及び需要の変化
- 為替レートの変動
- 探鉱・開発・生産に関連するコストまたはその他の支出の変化

当プレゼンテーションに掲載される情報（将来予想に関する情報を含む）を、その掲載日後において、更新または修正して公表する義務を負うものではありません。

1. 低圧生産設備が業績に与える影響について

質問：
低圧生産設備（Booster Compressor Module）の設置が2026年度の当期利益に与える影響は？
また、2027年度にも影響するのか？

- 回答：
- イクシスは40年に渡る生産操業を目指しスタートした事業であり、可能な限り長期に渡り生産能力を維持できるよう取り組んでいる。これまでガス生産を継続してきたことで地下の圧力が下がっているところ、BCMを稼働させることにより、地上でのガス受け入れ可能圧力を低くすることで、より多くのガスを低圧状態で地下から回収することが可能。結果としてガス生産プラトーを延ばし将来的なガス回収量を増加させることができるというもの。
 - 現在、CPF上で低圧生産を目的としたBCMの設置・接続工事を進めている。施工完了後には試運転を行い、従来の高圧生産から低圧生産への切り替えを行う。これら一連の作業に伴い、2026年度において一部生産設備の計画的な停止および稼働率の低下を見込んでいる。
 - 低圧生産設備の試運転による計画停止・稼働率低下は一過性のものであり、影響は2026年のみである。一方、出荷カーゴ数は当該作業によるもの以外にも、各年のメンテナンス規模や開発等による一過性の作業の影響も受ける。中長期的に安定生産、生産最大化するという方針のもと、各年の作業計画を最適化するための検討を継続的に行っており、2027年の出荷カーゴ数についても同方針に基づき、今後具体的に策定していく。



BCMの設置作業

2. 株主還元方針

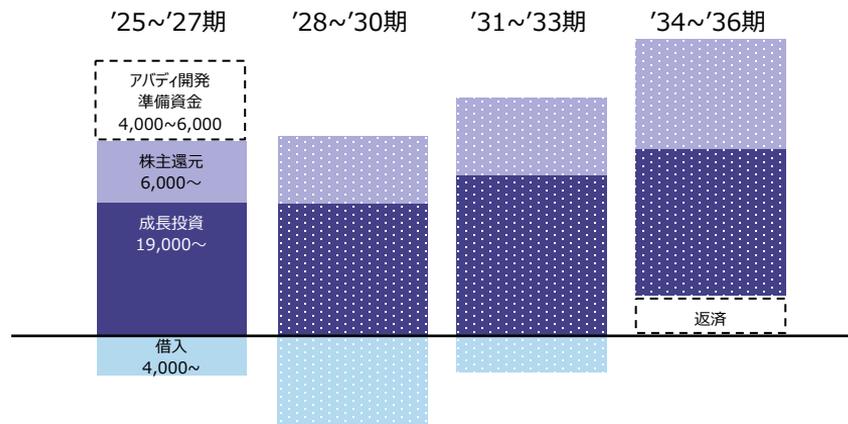
質問：

2026年は成長投資の増加（2/12公表時点で8,500億円。2025年度比4,631億円増）によりフリー・キャッシュ・フローが△200億円となる見込みであるが、株主還元は維持できるのか？また中長期的な還元方針は？

回答：

- Vision 2035の着実な実行のため、今期は成長投資を積み上げていく一方、現中計（'25-'27）期間中に実施するとお示した株主還元も変わらず進めていく。
- 具体的には「累進配当」及び「総還元性向50%以上」は引き続き推進する意向であり、短期的な業績の変動でこれらの還元方針を変更することは考えていない。
- 2028年以降はアバディを含む大型の成長投資の実行が見込まれるため、現中計以降の株主還元方針は今後具体的に検討していく。
- なお、油価・為替が一定の水準圏内であれば、アバディ開発投資と並行して株主還元に充当するためのキャッシュ・フローは十分に確保できる見通しであり、成長投資と安定的な株主還元の両立をできる限り目指していきたい。

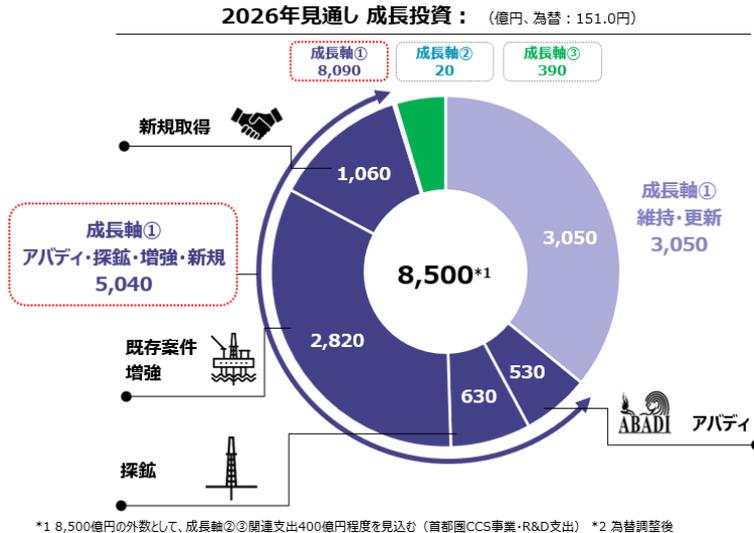
プロジェクトからのキャッシュと借入により投資・還元を両立



3. 成長投資の内訳

質問：
2026年に予定している成長投資のうち、それぞれの内訳の詳細をご説明願う。

- 回答：**
- 2030年代初頭を予定しているアバディLNGの生産開始までの期間も利益及びキャッシュ・フロー成長を続けるため、2026年度は8,500億円の投資を計画（'25～'27の中計期間累計19,000億円）
 - 新規取得：**イクシスを含むアジア・オセアニアを中心にコアエリアで複数案件を検討中。アバディ生産開始前に利益貢献する見込みの案件も多数含まれる。
 - 既存案件増強：**太宗は欧州・中東地域における生産量増加に向けた設備投資。既存の生産アセットの持分追加取得。
 - アバディ及び探鉱：**アバディ FEEDコスト、コアエリアでの生産量拡大に向けた投資



新規取得・既存案件増強の内訳	3,880億円に占める割合	内容
短期 (26-27年頃に利益貢献)	6割程度	生産中案件の取得、増強 実行済み：南西カスピ海石油の持分追加取得 当社持分が51%→100%に増加
中期 (アバディ生産開始前に利益貢献)	2割程度	既存案件の増強
長期 (アバディ生産開始後に利益貢献)	2割程度	既発見未開発案件の取得

4. 中東情勢について

質問：
中東情勢が緊迫化しているが、御社事業への影響についてご説明願う。

回答：

- 2月28日以降の、イラン有事による当社事業への影響等については、今後の動向次第であり、状況を注視する。
- なお、在UAEの当社従業員及びその家族全員の安全を確認している。駐在員とその家族は自宅にて身の安全を確保したうえで、退避の場合に備えて必要な準備を行うこととしている。

目の前に立ちはだかる世界規模の課題。
私たちは地球の力でエネルギーを創る、
チームの力を結集する、経験と新しい発想で知恵を出し合う。
絶対に使命を投げ出したりしない。
私たちはエネルギーを探し、届け続ける。
今日も明日もこれからも、ずっと。

地球の力で未来へ挑む

INPEX

Energy for a brighter future